2011年7月発行　手賀沼トラスト便り　第145号

-沼のほとり-

7月～9月の活動予定

○　定例会の予定[　連絡先　原田(090－6499－0189)]

①　日時･場所:7月17日(日)　8:00～11:30　　根戸城址集合
作業内容:田んぼ(畦草取り)･樹林地管理
準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

②　日時･場所:8月3日(水)　8:00～11:30　　根戸城址集合
作業内容:ヒマワリ畑･田んぼ管理など
高校生ボランティアー受け入れ
準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

③　日時･場所:8月20日(土)　8:00～11:30　　根戸城址集合
作業内容:ソバの種まき　(合同作業)
準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

④　日時･場所:9月7日(水)　8:30～12:00　　根戸城址集合
作業内容:ハザ作り
準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

⑤　日時･場所:9月24日(土)　8:30～14:00　　根戸城址集合
作業内容:稲刈り　(合同作業)　一般参加者
準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

連絡事項:　7月～8月の活動時間の変更:夏の暑さ対策として、
8:30～12:00から8:00～11:30に変更になります。

○　農教室の予定[連絡先　浅妻(04－7190－5975)]

①　日時･場所:7月23日(土)　8:00～11:30　　根戸城址集合
作業内容:トウモロコシ収穫など
準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

②　日時･場所:8月6日(土)　8:00～11:30　　根戸城址集合
作業内容:スイカ収穫など
準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

③　日時･場所:8月20日(土)　8:00～11:30　　根戸城址集合
作業内容:ソバの種まき　(合同作業)
準備するもの:筆記用具、軍手、帽子、飲み物など

④ 日時・場所：9月10日（土） 8：30～12：00　　根戸城址集合
作業内容： 秋野菜播種など
準備するもの：筆記用具、軍手、帽子、飲み物など
⑤ 日時・場所：9月24日（土） 8：30～14：00　　根戸城址集合
作業内容：稲刈り　　（合同作業） 一般参加者
準備するもの：筆記用具、軍手、帽子、飲み物など
連絡事項： 7月～8月の活動時間の変更：夏の暑さ対策として、
8：30～12：00から8：00～11：30に変更になります。

○ 竹教室の予定[連絡先 川瀬（04－7163－5723）]
① 日時・場所：7月16日（土） 9：00～12：00　　根戸城址集合
② 日時・場所：8月27日（土） 9：00～12：00

○ トラストサロン
① 手賀沼流域ファーラム[連絡先 福井（04－7186－3182）]
日時・場所：7月16日（土） 9：00～12：00　　根戸城址集合
作業内容： 案山子の製作
準備のお願い：古着、布や帽子等を案山子の作製日までに
根戸城址活動場所にご持参し下さい。
本件については、上記の福井さんにご連絡ください。
日時・場所：8月20日（土） 11：30～12：00　　田んぼ圃場
ソバ播種終了後、手賀沼流域フォーラムの第2回
案山子コンテスト及び田んぼ生き物観察を実施します。

○ その他
① 法人化設立準備プロジェクト：ロゴマーク募集
[連絡先 國方（04－7184－3385）]
手賀沼トラストの法人化設立については、7月に予定されていますが、会員の皆さん方から設立を記念して、「ゴロマーク」を募集します。 なお、採用された方には、景品を贈呈いたします。
募集期限： 2011年7月31日まで
② 2011年「竹宵」in あびこ キャンドル募金
（東北の被災地へ応援の灯火をつなげよう）
日時・場所：7月16日（土）16：30～20：00 けやきプラザ広場
（雨天順延）
手賀沼トラスト会員のボランティアで参加しています。
竹灯篭を作成し、夜広場を一面照らす催しを行いますので、是非ご参加下さい。

活動　1　農教室の活動状況：定例会と臨時農教室の合同作業

水稲苗の補植等の風景

順調に生育するヒマワリ

トウモロコシ補植等の風景

トウモロコシの生育状況

草に囲まれたサトイモ

6月1日　晴れ、参加者 30 名

田んぼ苗の補植/ヒマワリ畑及びハス田草取り/トウモロシの補植･草取り／サトイモ及びサツマイモ畑草取り

この間、桜が咲いたと思っていたら、もう梅雨です。今回の定例会は、農教室と合同で行いました。平日にも関わらず、 人数も30名強の方々にお集りいただきました。 先ずは、全員で先月田植えをした田んぼに移動。先週末の雨で根が浮いてしまっていた苗を植え直したり、間隔があいているところに新たに植えていきました（補植と言います）。 苗が整然と並んでいる姿は、清々しくて見ていて気持ちが良いものです。 ここを1時間ほどで切り上げて、向かいの畑へ移動。 ここで、2班に分かれました。 ヒマワリ畑で草取りと苗の植え替えをするトラスト班と、とうもろこし畑の草取りをする農教室班です。 私は、ヒマワリ班でしたが、今年は種が良かったせいなのか、ヒマワリの生育も順調です。 この分なら、夏には大きな花が咲くと思います。畑での作業を終えて、トラスト班はハス田へ移動。 この時点で、人数は4人に減ってました。 ハス田でも草刈りです。 ただ、地面に根が張っているのと、当然田んぼのためもぐることもあって、思うように作業がはかどりません。 結局、一部の草を刈るに留まりました。ハス田の草刈りは、次回に持ち越しです。夏に向っているせいか、 田んぼ･ヒマワリ畑･ハス田と草取りばかりでした。 参加された皆様、お疲れ様でした。 （原田記）

農教室では、田植えの補植後、トウモロコシの補植･草取り並びにサトイモ及びサツマイモ畑草取りを行いました。 特に、ふれあい通りの圃場では、サトイモ畑では、かなりの草が繁茂していたが、参加会員の方々の根気強さにより草は一掃され、作物もこれで良く生育することでしょう。 また、サツマイモ植付け予定の畑では、耕運機の出動となり、田畑整備チームの活躍で、6月11日に予定されているサツマイモの植付けに備えることができました。　　（浅妻　記）

活動　2　トラストサロン活動状況：「食の安全･安心と持続的農業について」講演会

６月４日（日）、我孫子駅前にある「アビコス」というNPO法人が運営する施設にて、トラストサロンが行われました。テーマは「食の安全･安心と持続的農業について」。遠藤織太郎代表による１時間30分の講演です。参加者は23名。

内容は、「世界の食糧、日本の食糧」「日本人の食の実態と食の再生」「食の安全安心とは」「なぜ、持続的農業が必要なのか」の４項目で、それぞれ具体的なデータなどを交えた大変分かりやすい講演でした。　参加者からの質疑応答も活発になされ、企業の農業参入･野菜工場への見解、野菜の季節性、TPPへの対応などなど、農業を取り巻く大きな課題が議論されました。　時には遠藤代表が農林水産大臣に代わって答弁する機会もあり、今後の日本の農業の方向性が明確に示されました。　また、放射能と農産物への質問もあり、この問題に対する関心の高さが示されました。

遠藤代表のまとめの言葉は「食は命なり、命は食にあり、食は農にあり、かくて、世界、日本における食と農の再生を！」です。

みなさん、心してトラスト活動に参加しましょう！

世界や日本の食糧事情を学びながら、地産地消、心土不二の大切さを再認識する大変有意義なサロンとなりました。　（坂巻　記）

活動　3　農教室の活動状況：　サツマイモ植付け/その他夏野菜の管理

サツマイモ植付け風景
（ふれあい通り）

サツマイモ植付け風景
（みかん山）

ゴーヤ・カボチャー・キューリの
ハザ作製風景

6月12日農教室作業の曇り/晴れ、参加者:52名

農教室体験リポート

私は、千葉県生涯大学の園芸学部に在籍したことがご縁で、この農教室の存在を知りました。　見渡す限りの畑や田んぼ、緑豊かな樹林地が広がり、宅地化が進むなかで、こんな身近なところに、むかし懐かしい里山の風景が残っていることに驚きました。

今回は予定されていた土曜日が雨のため、翌日の6月12日（日）が作業日となりました。　とにかく蒸し暑い一日でした。　安倍さんよりサツマイモの由来のお話や、栽培の説明をうけて、みかん山圃場に500本、ふれあい通りの圃場に400本のベニアズマの苗を植えることになりました。　ふれあい通りの畑の一部は水の溜まりやすいところがあり、長靴がドロで抜けなくなる程で植えるのが大変でした。　こんなに水分が多くて育つのか、それとも昨年のように暑くて大きなサトイモが出来たように、立派なサトマイモになるかも･･･とワイワイ話しながら無事植え付けが終わりました。　畑では遠藤先生より施肥の中に入れたワラの効用についてのお話がありました。　また、農業経験者の方々からは、今年の苗は良い苗とのお褒めの言葉があり、秋の収穫が一段と楽しみな一日となりました。　（一杉　記）

ラッカセイ
防鳥用ネットの撤去風景

ラッカセイ
草取り

スイカ
防鳥用ネットの撤去

活動　4　蜂部会活動状況：

蜂部会の皆様　20110612 報告

１２日に見晴らし山の蜂箱を解体しました。
すでに蜂は1匹もいず、他の群の蜂が残った蜜をあさりに来ていました。少しは蜜が残っているかと期待しましたがほとんど残っていませんでした。それでも、参加したみんなで少しずつなめました。
どうも女王蜂が老齢化し、次の女王を生まずに死んでしまったようです。女王がいなくなると、働き蜂が遺伝子を残そうと産卵しますが、無精卵なので雄蜂が生まれます。その雄蜂がどこかの女王と交尾すると自分たちの遺伝子が残るわけです。見晴らしの箱でも4月下旬になって雄蜂が誕生しました。しかし女王がいないわけですから、新しい働き蜂は生まれません。群はどんどん減少し、やがて巣だけ残してすべて死滅してしまいます。
さいわい杉野さんのところから移動した群が桜の木の下にいますから、これを大事に育てて来年を期しましょう。また、金陵辺がすごい威力を発揮することが再確認されたので、来年にむけて栽培に力をいれたいと思います。現在、富沢のところに3鉢、杉野さんのところに1鉢あります。どなたか蘭の生育に挑戦したい方はいませんか。　というわけで、蜂部会はしばらく休業です。根戸城に来たときには、桜の木の下の箱を覗いてください。せっせと花粉を運ぶ愛らしい蜂が見えますよ。見晴らしでの監視などに参加してくださった方、お疲れさまでした。　次は、お盆あけころからのスズメバチとの死闘です。動体視力を鍛えておいてください。　　（冨沢　記）

活動　5　市民活動フェアーへの参加

市民活動フェア in あびこ 2011 に出展　(2011 年6月18日～19日)

手賀沼トラストは、6月 18 日、19 日にアビスタで開催された「市民活動フェア in あびこ 2011」に環境分科会の一員として参加しました。全体テーマは、昨年に続き「ボランシカつながるまち・つながる人・ひと・ヒト」、環境分科会のテーマは「命を守るエコ生活・環境ネット」としました。今回は、東日本大震災(我孫子市復興支援)も考慮に入れた開催であり、募金箱の設置や支援の輪を広げる企画も行われました。

環境分科会には、今回から、世界自然遺産となった小笠原の固有種であるアサヒエビネ(ランの一種)の研究で有名な中央学院高校生物部と、布佐花の会の参加を得て、計 14 団体となりました。

手賀沼トラストでは、活動全般、冬水たんぼ、日本蜜蜂の3枚のパネルに加え、分蜂した蜜蜂捕獲の待ち箱と実物の巣を展示しました。会場を訪れた人の関心は高く、3名の入会希望者が出るなど、自然との共生をめざすトラスト活動への理解を広げたと思います。

分科会の全体企画としては「エコ・ビンゴゲーム」に取り組みました。手賀沼の環境問題、温暖化問題、エコ生活などのほか、参加団体の活動を踏まえた「数字の出題」が読み上げられ、環境意識を高めようという企画です。景品には、手作りのエコバック、ゴーヤの苗、カブトムシの幼虫、野鳥カードなど環境にちなんだ品々で、トラストからは竹炭と化粧炭(松ぼっくり)を各 30 個提供しました。

市民活動フェアは来年も続きます。今回、見逃した人も来年はぜひ覗いてみて下さい。「環境」だけでなく、「まちづくり」「健康・福祉」「スポーツ」「文化」「子ども」などの分科会があり、あびこの市民活動の幅と質の高さを示す企画がいっぱいです。そこには人生のヒントがあるかも知れません。(鴫谷　記)

活動　6　定例会活動:ハス田の草取り、みかん山の栗木管理等

定例会　2011年6月19日　晴れ、参加者数:20名

当初の予定では、田んぼとハス田の草取りとアナウンスをしていました。 田んぼの草の伸びがさほどではないということで、19日の定例会は、ハス田1本 に絞って参加者総出で草取りに終始しました。筆者は、都合があり遅れて9時ごろに 参加したのですが、その時点で、約20名の方々がハス田で悪戦苦闘していました。ただ、前回は3名での作業でしたので、遅々として進まなかったのですが、今回は大人数の甲斐もあって、かなりはかどりました。 ただ、雑草もしぶとくてハス田の地中深くに根を張っているために、水面に出ている草を刈るだけでは駄目で、根っこまで引抜かないとなりません。まさに根こそぎです。 全員で苦労した甲斐もあって、2時間ほどで大方の草を取ることが出来ました。もうすぐ、ハスの花も咲くことと思います、手賀沼沿いの名所でもありますし、楽しみですね。 その後は、時間がある人達でみかん山へ移動。4月に植樹をした栗の苗木に添え木をしてあげました。樹木も人間と同じで、こどもの内は大人が面倒を見てあげないと駄目なのですね。また、みかんの木の周辺の草刈りも合せて行いました。 更に筆者は、午後から沼南の田んぼへ移動。そこでも、畔の草刈りをしました。まさに、草刈り三昧の一日でした。　　(原田　記)

草取りを終了したハス田風景

草取り前のハス田風景

ミカン山に植林された栗の木

ハス田に繁茂していた草

ミカン山の作業を終え、新入会員との記念写真

活動　7　農教室の活動状況：夏野菜の管理作業

サトイモの草取り・土寄せ風景
ふれあい通り圃場

6 月 26 日(日)　曇り、参加者:48 名

6 月 25 日(土)は雨になるとの予報で、今日農教室を行うこととなった。みかん山圃場及びふれあい通り圃場の草取り及び土寄せを行った。前日雨が降り、土壌はかなりの水を含んでいたので、特にふれあい通り圃場では、会員の方々は草取りや土寄せにかなり苦労されていたようである。また、せっかくきれいに刈り取った草の根に十分な土がついており、土を落とさずそのままサトイモの間に置かれ、そこに土寄せをおこなったので、これで

は、また１週間後には草が一斉に生えてくることになるので、再度、それらの草をバケツに入れ、圃場の外へ取りのぞくこととなった。 田んぼでは、黒い米及び赤米の田んぼでは、灌水されていなかったようで、畔も含め草取りを行った。 もち米やうるち米の田んぼでは、冬水田んぼの効果があり、草取りはほとんど行わなくてもよい状態であった。 田んぼ圃場に植えられているナス及びカボチャ等の管理も行った。

また、根戸城址下圃場では、根戸城址下圃場では、ラッカセイやニンジン畑に草が繁茂していたが、会員の方々の努力により草は一掃され、作物がいかにも喜んでいるように見えた。 (浅妻 記)

活動 8 農教室の活動状況：ジャガイモ収穫及びカレーパティー等

ジャガイモ収穫風景
まかん山圃場

ジャガイモ収穫風景
根戸城址下圃場

7月2日(土) 曇り晴れ、参加者：58名

前日に、講師が中心となりカレーパティー用の準備のためにジャガイモとニンジンの一部を掘り上げ、また、釜戸の整備等を行い、今日は、農教室で栽培している夏野菜のなかで、ジャガイモが最初の収穫となった。

みかん山圃場及び根戸城址下圃場に栽培されていたジャガイモ(キタカリ、トウヤ及びメークイン)を全て収穫した。 参加会員一人当たり約10～15kg程度を袋詰めにして、各自持って帰ることとなった。 イモの大きさもまあまあであり、イモの肌もつやつやしていた。 ジャガイモ収穫後、女性会員や一部男性会員の方々の料理も整い、いよいよカレーパティーが始まった。 各チーム毎にまとまり、農教室の活動や作業についての感想、反省や要望等について、わいわいがやがやと会話をかわしあい、会員相互の親睦を深めることができたのでないかと思います。 (浅妻 記)

どのニンジンを収穫すればよいですか？
と問いかけている少女
根戸城址下圃場

カレーパティー会場の風景
収穫したジャガイモやニンジン
がいっぱい入ったカレーだよ。

『 猫車に新じゃが 』

旬のキタアカリ･とうや･メークインが初モノながら猫車に何杯もの収穫ができました。
猫車ってどういう意味！？建築現場などの細い板で作った足場を「ねこ足場」といい、その上でうまく使う手押し一輪運搬車のことで「ねこぐるま」と呼ぶそうです。

さて、梅雨の合間を縫ってのじゃがいも掘りとカレー料理には何度も歓声のあがるひとときでした。自分たちの農園で育てた　自分たちの安心な野菜は最高の贅沢です。最近は食べ物に対する安全性が難しくなってきました。スーパーでも顔写真入りのパッケージ野菜が多くなっています。農園での野菜、土、そして人との出合い、農教室には新しい出会いが溢れています。
安全で美味しいビールの友！そんな野菜を目指します！　　(小西　記)

編集･発行　手賀沼トラスト事務局　〒270－1168　我孫子市根戸1349
TEL　090－6499－0189(原田)　E-mail:teganuma-t@mail.goo.ne.jp
ホームページ　http://www.geocities.jp/teganuma_trust/
ブログ　http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/